



国内最大の半島、紀伊半島に位置する和歌山。内陸部には、緑なす山々と深い森。そこから生まれた川は、黒潮おどる雄大な海へと注ぐ。はるか昔から、その壮大な自然が「癒しの聖地」として人々を惹きつけてきたこの地は、自然がもたらす豊かな恵み、“食”の魅力にも彩られている。

食を語るのに欠かせないのが、海と山、そして人々が暮らす里の距離の近さ。自然の循環、山と沿岸の文化の複合、そして黒潮が運ぶ温暖な気候も手伝って、和歌山の食文化は驚くほど豊かだ。いくつかの条件が重なって生まれた、食の楽園。その魅力を、まずは誌面で味わってみよう。

特集 海、山、川、人、歴史、食のMixture!

食の楽園、和歌山。